

令和4年度 CREST「細胞外微粒子」若手チャレンジ

1. 目的

領域の更なる発展に資する、領域の裾野を広げるような挑戦的研究を推進することを第一の目的とし、若手研究者が、領域全体の研究進展やポートフォリオ的に重要なテーマを自ら考えて提案することで、これまでの研究提案とは異なる視点から自身の研究を見直し、新たなモチベーションを持って研究に取り組んでもらう。同時に若手研究者が独立したポジションを得るための準備の一環として、独自の研究計画とそのマネージメントを学び、経験を積んでもらう。

2. 概要

本領域研究者で、本領域から直接予算を配分されていない若手研究者を対象とし、領域方針に合致し、領域全体に資する研究を支援する。

3. 予算・研究期間

1件あたりの予算は新規課題は最大250万円、継続課題は最大100万円、期間はどちらも2023年3月末までとする。但し、翌年度継続を希望する場合は再申請出来る。継続希望については領域会議における進捗報告の内容も踏まえて再審査を行い、総括が継続すべきと判断する研究は、総括裁量経費により2024年3月末まで延長する。

4. 選考・採択、報告義務

研究者から提出された研究提案書を研究領域総括が審査し、優れた提案には面接を行い、最終採択者を決定する。採択者は領域会議での進捗報告および年次報告書への研究報告記載が必要。

令和4年度 CREST「細胞外微粒子」若手チャレンジ採択者

新規

チーム名	グループ名	氏名	所属	課題名
秋田チーム	秋田G	内田 康雄	東北大	脳転移性メラノーマ由来エクソソームの脳選択的移行メカニズムの解明
		櫻井 遊	東北大	リンパ管内皮細胞由来エクソソーム内micro RNAによる免疫制御技術の開発
吉森チーム	池中G	角田 湊太	大阪大	生体内外の細胞外微粒子がライソゾーム膜破綻を介したα-シヌクレイン凝集伝播に与える影響の解析
石井チーム	石井G	林 智哉	東大医科研	細胞外小胞の新規可視化技術の構築と免疫細胞から放出される細胞外小胞の体内動態解析
	CobanG	Lee MSJ	東大医科研	Identifying the role of extracellular particles in B cell activation for germinal center formation
太田チーム	太田G	玉光 未侑	東京大	微小ナノ粒子径および屈折率の高速同時測定法の開発
		岩本 侑一郎	東京大	自家蛍光スペクトルイメージングによる分泌EVの細胞内局在の特定
豊國チーム	豊國G	片渕 充沙子	名古屋大	マイクロプラスチック曝露による子宮・卵巣への影響の解明ー子宮内膜症に着目してー
	室原G	加藤 勝洋	名古屋大	3次元的肺胞構造解析を介した外因性微粒子の生体侵入機構解明
渡邊チーム	幸谷G	工藤 海	東海大学	sPLA2-EV軸を基盤とした細胞外小胞の機能促進因子の同定

継続

チーム名	グループ名	氏名	所属	課題名
秋田チーム	大槻G	伊藤慎悟	熊本大	オーファントランスポーターによる微粒子の細胞外放出制御機構の解明
山下チーム	山下G	皆川 朋皓	京都大	近接細胞間におけるエクソソーム授受のライブイメージングと細胞形質の同調
吉森チーム	吉森G	田端 桂介	大阪大	細胞外微粒子により誘導されるリソファジー制御因子の新規同定と機能解析
		上西 達也	大阪大	リソソームエキソサイトーシスを制御するCa2+チャネルTRPML1 複合体の構造解析
小椋チーム	村上G	岩山 智明	大阪大	オルガネラ迅速単離によるエクソソームの形成メカニズム解明
高野チーム	高野G	本田 晶子	京都大	粒子含有パーソナルケア製品によるアトピー性皮膚炎悪化機構の解明
豊國チーム	豊國G	本岡 大社	名古屋大	タルクによるEVs伝達阻害：卵巣における評価と応用